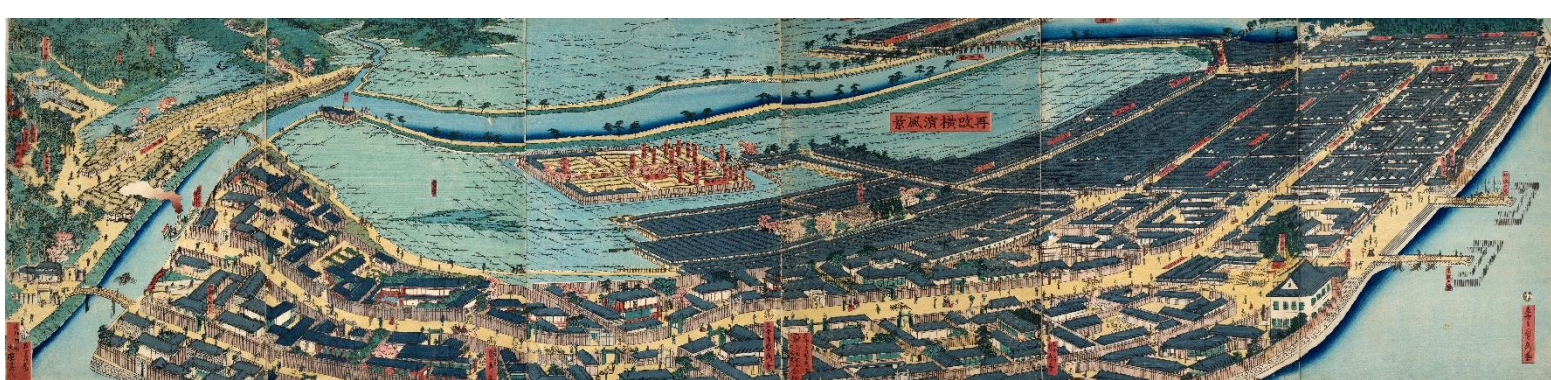




「横浜・生糸」ものがたりⅢ

横浜から世界へ 海を渡った生糸

東海道の神奈川宿近く、100戸ばかりの半農半漁村であった横浜村で、横浜開港が決まると急速に都市建設が始まります。わずか半年足らずで街並みが整備され、安政6年(1859)6月2日に横浜港が開港しました。現在の山下町には外国人居留地があり、当時イギリスの総合商社ジャーディン・マセソン商会（英一番館）があった場所にシルク博物館があります。

それまで国内で流通していた生糸は、開港を境に貿易品の花形となり、代表的な生産地の福島県、群馬県、埼玉県、長野県をはじめ生産力が高まっていきます。大量の生糸が横浜に持ち込まれ、売込商（日本人商人）と外国商館との間で生糸取引が盛んに行われ、横浜港からヨーロッパを中心に輸出されました。開港当初に活躍した群馬県出身の中居屋重兵衛に続き、後に二大売込商と呼ばれる亀屋（原善三郎）や野沢屋（茂木惣兵衛）のほか多くの売込商が生糸貿易を担いました。明治10年代に入ると、売込商や外国商館を通さずに直接輸出をする直輸出も加わりアメリカへの輸出が伸びていきました。

今回の特別展では、近代日本の発展を経済的に支えた生糸貿易の歴史を一覧します。また、生糸貿易が行われた開港当初の町の姿、売込商と外国商館の取引の様子を浮世絵や文書・版本などから紹介するとともに、生糸標本の実物も展示公開します。

【会 期】令和4年10月1日（土）～11月13日（日） 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
※会期中、展示替えがあります。

【休館日】毎月曜日（ただし、10月10日（月）は開館、翌11日（火）は休館）

【入館料】一 般 700円（400円） シニア・大学生 300円（200円）
高校生・中学・小学生 100円（50円） （ ）内は割引（団体20名以上）の料金

【主催・会場】 シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地（シルクセンター2階）
TEL 045-641-0841 FAX 045-671-0727

【後 援】 神奈川県、横浜市、横浜市中区、群馬県嬬恋村、神奈川新聞社、tvk、NHK 横浜放送局、
一般財団法人織貿会館、東京繊維卸商業組合、中居屋重兵衛顕彰会、横浜繊維振興会

横浜から世界へ 海を渡った生糸

連続講座のご案内



本展開催に伴い、連続講座を開催します。「都市形成」「生糸貿易」「日米貿易」をテーマに、ご専門の先生方をお迎えして深く掘り下げていただきます。
申込方法および期間をご確認の上、お申し込みをお願いいたします。

【連続講座】 全3回 14時～16時

第一回 令和4年10月8日(土)「開港場横浜の都市形成」
横浜開港資料館・横浜都市発展記念館 副館長 青木祐介氏

第二回 令和4年10月22日(土)「生糸貿易の幕明けと中居屋重兵衛」
横浜開港資料館 館長 西川武臣氏

第三回 令和4年11月5日(土)「日本生糸と日米貿易」
横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館 館長 上山和雄氏

【参加費】 参加費 1,000円(入館料別) 初回時にお支払いいただきます。

【定員】 20名 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本来40名収容のところ半数とします

【申込方法】 往復葉書による申込(申込者多数の場合は、抽選とします)

【申込期間】 令和4年9月9日(金)～9月19日(月・祝) 消印有効

往信はがき(表面)	返信はがき(裏面)	返信はがき(表面)	往信はがき(裏面)
63 往信 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 シルク博物館内 令和4年度秋特別展 連続講座申込係	※この面は何も書かないでください。	63 返信 お申込者の 郵便番号 ご住所 ご氏名 をお書きください	①お申込者氏名 ②郵便番号 ご住所 ③お電話番号

往信はがき { (表面) 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 シルク博物館内
令和4年度秋特別展連続講座申込係宛て
(裏面) ①申込者名 ②ご住所 ③電話番号
(③は新型コロナウイルス感染状況によりご連絡する場合があるため)

返信はがき { (表面) お申込者の郵便番号、ご住所、ご氏名
(裏面) ※何も書かないでください

《申込みの諸注意》

- ・連続講座のため、全3回ご参加いただける方を対象とします
- ・参加可否は返信葉書の発送をもって代えさせていただきます(参加者は返信葉書が受講証となります)
- ・申込は1名につき1枚とし、記入漏れ等があった場合には無効とします